

令和2年度

一般財団法人あかしこども財団
事業報告書



自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

～ 目 次 ～

I 実施事業

1	こどもの居場所づくり事業	2
2	地域活動支援事業	5
3	子育て応援企業連携事業	7
4	こども総合支援事業	8
5	放課後児童健全育成事業	10
6	こども研修センター運営事業	13
7	あかしこども財団運営事業	16

II	法人概要	19
----	------	----

はじめに

あかしこども財団の設立から3周年を迎え、これまで地域の皆さまをはじめ、企業や関係機関・団体、子どもの健やかな成長を願う全ての方々のお力添えをいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に関して、3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、未だに収束が見えない状況です。新型コロナウイルス感染症が私たちの日常生活に与えた影響は大きく、そして、長期化しているこの状況下において、当財団は、その理念「すべての子どものしあわせのために」の達成に向けて、3つの担当により全力で取組を進めてまいりました。

まず、こども支援担当においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、こども食堂をはじめ、地域活動の休止が相次ぐ中、その運営者の不安に寄り添いながら、感染症対策を含めた運営全般の支援を行うなど、社会的な孤立や孤独を防ぎ、人と人とのつながりを守る活動の維持に努めました。また、新たに、子どもの事情に配慮した食の支援として、「テイクアウト・デリバリーこども食堂」を実施するとともに、地域みんな子どもを応援するまちづくりの機運を高めるため、「聞かせて！みんなの夢メッセージ」や「こども夢講座」を実施しました。

次に、放課後児童クラブ担当においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校中(令和2年4月9日～5月31日)においても、国や市からの要請を受け、朝から放課後児童クラブを開所して児童の受け入れを行うなど、保護者が就業等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を図りました。また、市と連携し、中核市で初めて、放課後児童支援員認定資格研修を実施し、支援員の確保と質の向上を図りました。

最後に、研修センター担当においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、当初の予定を変更し、オンライン方式による研修の実施や、定員変更を余儀なくされましたが、様々な感染症対策を講じ、細心の注意を払う中で研修を実施しました。また、新たに、子ども家庭総合支援拠点の設置促進に向けたアドバイザーの派遣を開始しました。

今後の組織運営に当たっては、地域のすべての子どもの健やかな育ちを地域みんなが応援する社会を実現するために、これまでの発想を切り替え、刻一刻と変化する地域ニーズに合わせて、これまでの取組を見直しながら、地域の皆さまをはじめ、各種団体、事業者、関係機関などと連携しつつ事業を展開してまいります。引き続き、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

I 実施事業

1 こどもの居場所づくり事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて子ども食堂の休止が相次ぐ中、感染防止に配慮しつつ、人と人とのつながりを守る活動でもある子ども食堂が開催できるよう、運営者の不安に寄り添いながら、感染症対策を含めた運営全般の支援を行ってきました。

全体で44か所の内、30か所の子ども食堂において、延べ約3,900人の子どもの居場所になるとともに、180人を超える地域の皆さまによる子どもの見守りにつながりました。

助成金交付額	4,135千円
延べ実施回数	254回
参加人数(延べ人数)	3,916人



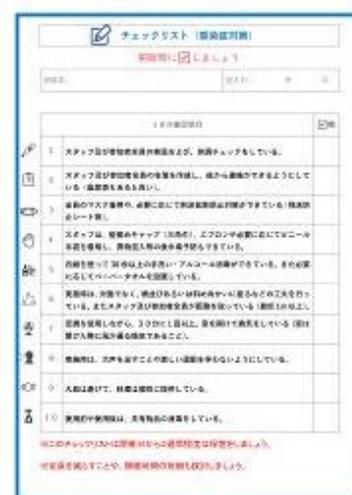
<実施内容>

◆ こども食堂等への感染症対策の実施

1回目(4・5月)と2回目(1・2月)の緊急事態宣言発出時は多くの子ども食堂が休止しましたが、その解除後には徐々に活動を再開しました。開催に当たって、子ども食堂の運営者から新型コロナウイルス感染症への不安や3密になることの懸念の声が多く寄せられたため、以下のような感染症対策を行いました。

①運営全般の支援

当財団の職員が、再開前に運営者からの運営相談に応じたり、マスクや消毒液等の衛生物資を提供したほか、基本的な感染症予防策をポイントに各子ども食堂自らがチェックできる「感染症対策チェックリスト」を配布し、運営者とともに現地で確認するなど、子ども食堂の現場に足を運び、個々の子ども食堂の特性に応じたきめ細やかな運営全般の支援を行いました。



②こども食堂研修会の実施

コロナ禍においても、子どもたちがより一層安心して参加できる子ども食堂として開催できるよう、運営上の注意点や工夫点等を学ぶ、子ども食堂運営者向けの研修会を実施しました。

日 時：令和2年11月26日（木） 午前10時～午前11時40分

参加者：こども食堂運営者41名

内 容：1部) あかし保健所長による講演

「新型コロナウイルスの最新の話等について」

2部) 参加者同士の意見交換

「コロナ禍における開催の工夫点等について」



◆ こども食堂新規開設支援及び運営支援

年間を通じて、財団ホームページや財団だより（季刊誌）、こども食堂図鑑等により、こども食堂の取組を発信するとともに、こども食堂の開設を希望する団体に対する新規開設や運営に関する相談、各団体への橋渡しなどの支援を行いました。

また、当財団の職員がこども食堂に定期的に足を運びながら、感染防止に配慮した開催の様子を把握したうえで、運営者からの様々な相談に対応しました。



【令和2年度に新規開設されたこども食堂（2か所）】

小学校区	名称	開設月
明石	明石小学校区こども食堂きらり☆	11月
山手	casa そらのみんな食堂	6月

◆ ボランティアへの対応

財団だよりを活用した周知等により、ボランティアニーズを掘り起こし、ボランティア活動希望者とこども食堂とをつなぐ取組を進めました。高校生や大学生がこども食堂に関わり、地域の人とふれあうなかで、子どもを応援する輪が広がっています。

ボランティア希望の問い合わせ件数	13件
実際にこども食堂につながった件数	7件

◆ 食材等の寄付への対応

子どもたちを応援したい市民（個人）や企業・団体等の多くの方々から食材の提供を受け、当財団が取りまとめて、希望することも食堂に配布しました。また、寄付していただいた企業や個人を、財団だよりや財団ホームページで紹介しています。



【食材等寄付の内訳】

寄付者	提供物
株式会社創味	煮豆等 延べ4, 800袋
個人	米 5kg×15袋
個人	米 5kg×4袋
有限会社オーキド米穀	米 5kg×40袋
生活協同組合コープこうべ	米 5kg×40袋
株式会社MAOMO	米 30kg×4袋
明石市漁業組合連合会	明石たこ 200kg
明石商工会議所女性部	米 5kg×30袋、サツマイモ5kg×20箱
あかねが丘学園（園芸コース）	じゃがいも、玉ねぎ、にんじん
株式会社大門	子ども用布マスク 500枚
フードドライブ（コープこうべ）	米や調味料など市民から提供があったもの



2 地域活動支援事業

● こども応援助成金

児童健全育成活動や子育て支援活動に取り組む地域活動団体に対し、活動費用の助成や広報の支援、ボランティアの育成等を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の休止や内容の縮小を行う団体がありましたが、当財団の職員が活動現場へ足を運び、感染症対策を含めた運営全般を支援することで、地域活動が継続できるように努めました。

<実施内容>

◆ 助成金の交付

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、申請団体35団体についての審査を書面により行い、助成金交付団体を決定しました。

【助成金交付実績】

コース区分	団体数 (団体)	交付額 (千円)	地域活動の例
チャレンジ	2	168	マジッククラブ、親子ふれあいサロン等
サポート	24	873	食育、親子工作等
地域学習支援	8	1,264	宿題支援、学力向上支援
未来のパパ・ママ	1	40	赤ちゃん先生
合計	35	2,345	

◆ 大学生向けオンライン説明会

勉強を苦手とする子どもへの学習指導等、学習支援ニーズが高まる中、地域学習支援活動の充実を図るため、大学生向けオンライン説明会を実施しました。

日時：令和3年2月20日（土）

参加者：兵庫県立大学の教授1名・看護学部学生23名

NPO法人学習支援ソサエティ命の根、希望塾

内容：地域活動団体の紹介、ボランティア活動を行う際の注意事項等

● **こども夢文庫**

こども夢文庫を運営する団体に対し、活動費用の助成や広報の支援、ボランティアの育成等を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月はこども夢文庫の活動を休止することとなりましたが、6月頃から徐々に再開し、7月にはすべてのこども夢文庫が活動できるようになりました。

再開に当たっては、当財団の職員が活動現場へ足を運び、感染症対策を含めた運営全般の支援を行うことで、地域活動が継続できるように努めました。

<実施内容>

【助成金交付実績】

団体数（団体）	交付額（千円）
8	1, 590



【各夢文庫の取組実績】

団体	年間利用者数（人）		年間貸出冊数（冊）	開催曜日
	子ども	保護者		
こども夢文庫あさぎり	722	612	2,656	水、木
こども夢文庫貴崎	59	367	141	月、水、金
こども夢文庫西明石	401	369	65	火、金
こども夢文庫大久保北	212	203	1,234	水、木
こども夢文庫えいがしま	140	155	720	火、水、金
こども夢文庫うおずみ	543	445	368	火、木
二見北こども夢文庫	952	625	141	水、土
こども夢文庫西二見	347	328	135	火、金

3 子育て応援企業連携事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催していたイベントは中止しましたが、子育て応援企業の協力を得て、子どもたちや市民に明るい話題を発信しました。

また、子育て応援企業の認定数拡大にも取り組み、地域みんなで子ども・子育てを支援し、応援するメッセージを発信しました。

<実施内容>

◆ お家でがんばる“ぼく”“わたし”ひとことメッセージ

コロナ禍において、お家で頑張る子どもたちからメッセージを募集し、ホームページや広報紙等で広く発信しました。また、子育て応援企業から多くの協賛品が寄せられ、メッセージを投稿してくれた子どもたちに提供されました。

テーマ：お家で頑張っていること、お家でのお手伝い等

応募数：157人・561件

募集期間：令和2年5月1日～31日



メッセージ	応募者名	年齢
朝、おはようございます！	ふうせん	5歳
あひるごはんとお弁当を作ります！	わた	5歳
おひまわり、いもうとのおおせわ	千尋	5歳
お母さんのお掃除やうい	ゆうん	5歳
洗濯物干して、お風呂で、おんがいでい	あつみ	5歳
お話しやあそびなどしています	ひな	5歳
お料理を上手にできたり、ママの料理のお手伝いもしています！	りんちゃん	5歳

メッセージ	応募者名	年齢
本業物を作ります！	ゆうん	12歳
勉強が得意で、数学が得意です！	ゆうん	11歳
言葉が得意で、お絵かき、お歌、お話し、おんがいでばらばらです！	ゆうん	11歳
読書の好きで、毎日お母さんと一緒に読書の時間があります！	ゆうん	11歳
おんがいで、うたがう	ゆうん	11歳
おんがいで、おんがいで、おんがいで	ゆうん	9歳

◆ 聞かせて！みんなの夢メッセージ

子どもたちの声で、まち全体が明るく前向きになるよう、夢に向かって頑張る子どもたちからメッセージを募集しました。また、子どもたちの夢が叶うよう、子育て応援企業である株式会社明石ケーブルテレビにご協力いただき、子どもたちが頑張る姿がテレビ放映されました。

テーマ：「ぼく、わたしの将来の夢」

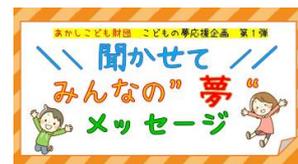
応募数：164人（内出演希望者31人）

募集期間：令和3年1月～2月

メッセージの展示：あかし市民広場にて3月19日～3月23日

明石ケーブルテレビ撮影日：3月26日・27日

放映時期：令和3年4月10日から明石ケーブルテレビの番組内で順次放映



4 こども総合支援事業

新たに、子どもたちの事情に配慮した緊急的な食の支援として、こども食堂運営者や市内飲食店の協力を得て、子どもたちにお弁当を届ける「テイクアウト・デリバリーこども食堂」を実施しました。

広報あかしに開催日等を掲載するとともに、小学校を通じて保護者へのメール配信システム「すぐメール」を活用するなど、幅広く効果的な広報を行いました。申し込み開始と同時に定員に達するなど、大変ご好評をいただき、約2万食のお弁当をお届けしました。



【実施したこども食堂（14か所）】

No.	名称	食の提供数（食）
1	明舞ひまわりこども食堂	401
2	明石キャッスルホテルこども食堂	540
3	はやしこどもカフェ	1,505
4	鳥羽子どもふれあいレストラン	221
5	こどもレストランnono	1,813
6	沢池こどもレストラン	635
7	こどもスマイルキッチン	407
8	はなぞのサポーティングランチ	200
9	貴崎鍵庄子ども食堂	372
10	谷八木こども食堂てくてく	352
11	レストランつながり	225
12	いろは食堂	3,214
13	錦ヶ浦キッチン	1,491
14	ほのぼのこどもレストラン	1,136
合計		12,512

【実施した市内飲食店（19か所）】※令和2年5月～8月まで実施

No.	名称	食の提供数（食）
1	ひだまり亭	998
2	人丸花壇	508
3	TTT	1,020
4	和ごころ万彩	505
5	昼網和膳穂の花	510
6	てんこもり弁当	621
7	たこや蛸老亭	455

No.	名称	食の提供数（食）
8	日本料理ぜんさく	550
9	手作り餃子はやし	474
10	割烹こてつ	481
11	焼肉やまと	500
12	焼肉やまと大久保店	500
13	食彩館ひのき	742
14	立ち呑み処がちゃびん	445
15	湖太郎	215
16	地元特産品販売じんだい	730
17	浪漫珈琲倶楽部神戸館	505
18	福田珈琲店	500
19	焼肉のむらや	500
合計		10,759

【(参考) 助成内容】

助成金の種類	助成金額（千円）
運営助成（開催1回につき）	30
特別助成（年度内に1回限り）	100

※飲食店には500食の提供を要件として、1か所上限300千円を助成



5 放課後児童健全育成事業

● 放課後児童クラブ運営事業

市内全28小学校の敷地内に放課後児童クラブを設置し、保護者が就業等により昼間家庭にいない児童を対象として、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図りました。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校期間中においても、国や市からの要請を受け、朝から放課後児童クラブを開所し、児童の受け入れを行いました。

※ 花園児童クラブの運営については、花園学童運営委員会に委託

【令和2年4月1日時点の受け入れ児童数】

(単位：名)

クラブ名		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
1	松が丘	19	19	18	17	4	1	78
2	朝霧	56	59	47	23	12	6	203
3	人丸	50	56	52	37	15	7	217
4	中崎	29	22	23	11	12	2	99
5	明石	37	47	12	23	22	2	143
6	大観	13	11	8	2	2	0	36
7	王子	31	27	17	8	15	3	101
8	林	24	37	29	23	7	8	128
9	和坂	19	21	14	8	7	1	70
10	鳥羽	51	44	23	17	8	4	147
11	沢池	55	45	31	13	9	5	158
12	藤江	57	39	19	15	11	2	143
13	花園	32	20	18	17	10	3	100
14	貴崎	6	13	6	5	2	3	35
15	大久保	80	50	39	25	15	3	212
16	大久保南	41	61	43	15	18	5	183
17	高丘東	15	16	10	16	13	2	72
18	高丘西	27	23	31	14	10	3	108
19	山手	88	48	32	21	8	3	200
20	谷八木	42	22	15	9	7	2	97
21	江井島	34	53	24	15	5	0	131
22	魚住	40	20	21	10	7	5	103
23	清水	34	31	19	12	4	2	102
24	錦が丘	20	28	21	6	10	3	88
25	錦浦	38	43	51	14	12	13	171
26	二見	17	16	10	5	0	2	50
27	二見北	36	32	20	19	14	14	135
28	二見西	29	25	26	16	8	2	106
合計		1,020	928	679	416	267	106	3,416

<実施内容>

放課後児童クラブの安定的な運営に加えて、以下のような取組を実施し、育成内容の充実を図りました。

◆ 発達障害が疑われる児童等への育成支援

発達支援センターの臨床発達心理士等による訪問や作業療法士の支援を受けて、発達障害が疑われる児童等への育成支援の充実を図りました。

- ・ 7月、8月、10月 臨床発達心理士等 延べ6名（3児童クラブ）
- ・ 6月、8月 作業療法士 延べ4名（2児童クラブ）

◆ 夏休み期間のみの入所を全児童クラブで実施

保護者のニーズを踏まえ、夏休み期間のみの入所の受け入れを、2019年度の10児童クラブから全28児童クラブに拡充して実施しました。



◆ 放課後ブックサークルの実施

あかし市民図書館所蔵の図書セット（本65冊、紙芝居5冊）を毎月、全児童クラブに届け、より多くの本に触れる機会を設けました。

◆ 支援員研修会の実施

放課後児童支援員や補助支援員向け研修会を実施し、育成支援の質の向上を図りました。

①新任研修会

<第1回>

日時：7月2日（木）午前10時～午前11時30分

受講者：53名

内容：子どもの力を伸ばす関わり

講師：放課後児童クラブ担当指導係長（スーパーバイザー） 玉田絹夫氏

<第2回>

日時：10月7日（水）午前10時～午前11時30分

受講者：52名

内容：気になる子どもの理解と対応

講師：臨床発達心理士 杉谷悠子氏

②全体研修会

<第1回>

日 時：10月16日（金）午前10時～午前11時30分

受講者：233名

内 容：発達障害のある子どもの理解と具体的支援

講 師：桃山学院教育大学教授 松久眞実氏

<第2回>

日 時：11月18日（水）午前10時～午前11時30分

受講者：142名

内 容：保護者対応の在り方等

講 師：大阪大学教授 小野田正利氏

③市民救命士講習

日 時：10月23日（金）・27日（火）～30日（金）

場 所：明石市防災センター、受講者：76名

◆ 広報紙（児童クラブだより）の発行

放課後児童クラブだより「おかえり！」を発行し、放課後児童クラブの活動を広報しました。

発行月：6月、11月

内 容：クラブ目標、イベント、新型コロナウイルス感染症対策等

配布先：クラブ利用児童の保護者、小学校、幼稚園、保育所、小学校コミセン等

部 数：各4,000部（A4両面）

● 放課後児童支援員認定資格研修事業

放課後児童支援員となるための必須研修である放課後児童支援員認定資格研修を、市と連携して中核市で初めて実施し、支援員の確保と質の向上を図りました。

<実施内容>

◆ カリキュラム

16科目24時間

◆ 日程

<1回目> 7月4日（土）・11日（土）・18日（土）・26日（日）

<2回目> 10月3日（土）・11日（日）・18日（日）・24日（土）

◆ 受講者

<1回目> 56名（財団職員：49名、その他一般枠：市内4名、市外3名）

<2回目> 42名（財団職員：28名、その他一般枠：市内14名）



6 こども研修センター運営事業

● 研修実施

国の虐待・思春期問題情報研修センター事業のうち、児童虐待対応機関職員等を対象とする研修を行う事業を、市が実施自治体、当財団が運営主体として実施しています。

計14本の研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、国や市と対応を協議した結果、5月に予定していた「児童養護施設職員指導者研修」については中止、6月に予定していた「児童相談所児童福祉司スーパーバイザー義務研修前期A日程」については8月に開催を延期。また、7月の「児童相談所児童心理司指導者研修」と令和3年2月の「一時保護所指導者研修」については中止したうえで、内容を変更し、オンラインによるセミナーとして実施しました。

その他の研修につきましては、感染状況等を踏まえながら、研修生へのマスク着用の義務付け、手指消毒液の設置や間隔を取るため定員を減らすなどの感染予防対策を講じた上で実施しました。

<実施内容>

研 修 名	時 期	定 員 (名)	参加者 (名)	備 考
児童養護施設職員指導者研修	5月19日(火) ～22日(金)	80	—	中止
児童相談所児童心理司指導者研修 【共催】子どもの虹情報研修センター	7月16日(木)	80	78	オンライン 実施
児童相談所児童福祉司 スーパーバイザー義務研修 前期B日程 (法)	7月29日(水) ～31日(金)	60	50	定員変更
教育機関・児童福祉関係職員合同研 修	8月20日(木) ～21日(金)	60	34	定員変更
児童相談所児童福祉司 スーパーバイザー義務研修 前期A日程 (法)	8月25日(火) ～27日(木)	60	45	延期 定員変更
乳児院職員指導者研修	9月 8日(火) ～11日(金)	60	25	定員変更
児童相談所弁護士等専門研修	10月 8日(木) ～ 9日(金)	40	19	—
市区町村子ども家庭相談支援 指導者研修	10月20日(火) ～23日(木)	60	47	定員変更
児童相談所児童福祉司 スーパーバイザー義務研修 後期A日程 (法)	11月18日(水) ～20日(金)	60	45	定員変更
児童相談所児童福祉司 スーパーバイザー義務研修 後期B日程 (法)	12月 9日(水) ～11日(金)	60	46	定員変更

こころのシリーズ 「虐待を受けた子どものこころの 支援」	1月13日(水) ～15日(金)	60	25	定員変更
一時保護所指導者研修	2月4日(木)	80	60	オンライン 実施
子ども虐待対応母子保健関係職員 指導者研修	2月16日(火) ～19日(金)	60	13	定員変更
健康障害シリーズ 「最新の虐待医学から学ぶ」	3月4日(木) ～5日(金)	60	52	定員変更

※(注)は法定義務研修の略

● 子ども家庭総合支援拠点の設置促進に向けたアドバイザー派遣

国は、市区町村における子どもとその家庭、妊婦等を対象として必要な支援を行う体制強化を図るため、子ども家庭総合支援拠点の整備を進めており、令和2年度から、国の虐待・思春期問題情報研修センター事業の取組の一つとして、新たに「子ども家庭総合支援拠点の立ち上げを支援するアドバイザー派遣事業」を実施しています。

この事業は、アドバイザーの派遣を希望する市区町村が都道府県を通して当財団に依頼し、当財団が依頼内容を踏まえ候補となるアドバイザーを選定し派遣の調整を行うものです。アドバイザーは、子ども家庭総合支援拠点の立ち上げや運営に深い知識と経験がある、有識者7名、自治体職員13名から構成されています。令和2年度は、計24件の派遣を調整しました。

<実施内容>

依頼元	依頼件数 (件)	調整件数 (件)
愛知県	1	1
広島県	2	7
埼玉県	3	3
福島県	1	1
北海道	7	4
兵庫県	2	2
香川県	1	1
岡山県	1	1
岐阜県	1	1
長崎県	1	1
島根県	1	1
山形県	1	1

依頼内容	件数（件）
子ども家庭総合支援拠点の立ち上げに当たっての助言	20
母子保健との連携	14
都道府県（児童相談所）が主催する管内市町向け研修会	13
組織体制	10
専門人材の確保	10
拠点の具体的な業務内容	9
先進市での事例、拠点がうまく機能した事例	8
家庭児童相談室の業務との違い	5
補助金の活用方法	4

7 あかしこども財団運営事業

諸規程の整備や一般事業主行動計画の策定により、運営体制の構築を図るとともに、財団ホームページへの掲載や財団だよりの発行等により、効果的な広報活動を行いました。また、オンライン形式によるこども夢講座を開催し、子どもたちの夢や希望を育むきっかけづくりを行いました。

<実施内容>

時期	実施内容
4月	第1回理事会開催（書面決議）
5月	2019年度事業監査 第2回理事会開催（書面決議） 財団だより（第7号）発行
6月	第3回理事会開催（書面決議） 第4回理事会開催（書面決議） 第1回評議員会開催（書面決議）
8月	財団だより（第8号）発行
11月	財団だより（第9号）発行
1月	第5回理事会開催（書面決議） 第2回評議員会開催（書面決議）
2月	財団だより（第10号）発行
3月	第6回理事会開催（オンライン） 第7回理事会開催（書面決議） こども夢講座開催（オンライン）

◆ 運営体制の構築

適切かつ健全な組織運営及び効果的な事業展開を行うため、必要となる諸規程の整備を行うとともに、一般事業主行動計画の策定を行い、働きやすい職場環境の整備を図りました。

○ 整備した規程類

会計処理規程（改正）、事務処理規程（改正）

○ 一般事業主行動計画

目的：次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法に基づき、職員一人ひとりが仕事と生活の調和を図り、最大限にその能力を発揮し活躍できる働きやすい職場環境の整備を図る。

計画期間：令和3年2月1日～令和7年3月31日

◆ 財団だよりの発行

季刊誌としての「財団だより」を計4回（第7・8・9・10号）発行しました。
 公共施設や関係機関等に幅広く配布し、当財団の取組を広く発信しました。
 発行部数：各3,500部（A3両面・4ページ）



◆ こども夢講座を開催

子どもたちが明るく前向きに将来の夢や希望が持てるよう、明石市立天文科学館と協働し、こども夢講座として、オンライン形式により開催しました。開催前に国立極地研究所から本物の南極の氷を取り寄せて参加者に発送し、当日は氷の溶ける様子を自宅で観察できるようにするなど、子どもたちが楽しめる工夫を行いました。

日 時：令和3年3月13日（土） 午後2時～午後4時

テーマ：「きみの未来は無敵大！～南極編～」

講 師：第56次日本南極観測隊同行者 河合健次氏による講演

「南極への行き方や様子、魅力等について」

明石市立天文科学館館長 井上毅氏による説明

「南極における日時計の不思議や仕組みについて」

参加者：親子32組



<理事会・評議員会の開催状況>

【理事会】

開催日	内容		可否
第1回 令和2年4月1日 (書面決議)	議案第1号	常務理事の選定について	可決
第2回 令和2年5月20日 (書面決議)	議案第2号	会計処理規程の改正について	可決
第3回 令和2年6月2日 (書面決議)	議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号	2019年度事業報告について 2019年度収支決算について 令和2年度収支予算(補正)について 令和2年度第1回評議員会の招集について	可決 可決 可決 可決
第4回 令和2年6月30日 (書面決議)	議案第7号	理事長(代表理事)の選定について	可決
第5回 令和3年1月20日 (書面決議)	議案第8号	令和2年度第2回評議員会の招集について	可決
第6回 令和3年3月10日	議案第9号 議案第10号	令和3年度事業計画について 令和3年度収支予算について	可決 可決
第7回 令和3年3月31日 (書面決議)	議案第11号	事務処理規程の改正について	可決

※ 第6回理事会は、オンラインで開催しました。

【評議員会】

開催日	内容		可否
第1回 令和2年6月18日 (書面決議)	議案第1号	2019年度収支決算について	可決
	議案第2号	濱田純一氏を理事として選任することについて	可決
	議案第3号	寺見陽子氏を理事として選任することについて	可決
	議案第4号	公家裕氏を理事として選任することについて	可決
第2回 令和3年1月29日 (書面決議)	議案第5号	佐野洋子氏を理事として選任することについて	可決
	議案第6号	前田麻衣氏を監事として選任することについて	可決

Ⅱ 法人概要

<理事・評議員・監事> ※令和3年3月31日現在

理事長

濱田 純一	東京大学名誉教授（あかし市民図書館名誉館長）
-------	------------------------

理事

寺見 陽子	神戸松蔭女子学院大学大学院教授
公家 裕	明石市市民生活局参事兼あかねが丘学園長（前明石市教育長）
佐野 洋子	明石市理事（福祉・こども担当）兼福祉局長兼こども局明石こどもセンター所長
小川 悦司	常務理事（兼事務局長）

評議員

小澤 昌甲	社会福祉法人神戸YMCA福祉会常務理事
岡本 敬子	前国際ソロプチミスト明石会長
佐藤 美知代	明石市民生児童委員協議会児童福祉専門部会部会長
高橋 嗣郎	明石ケーブルテレビ社長
藤本 政則	立正学園施設長
松山 清	明石地区里親会会長
三木 一廣	ユープこうべ第6地区活動本部本部長

監事

前田 麻衣	弁護士
箕作 浩志	明石市総務局財務部長兼財務室長

